

レベル		I	II	III	IV	V
目標		必要に応じ助言を得て実践する	標準的な実践を自立して行う	個別の状況に応じた判断と実践を行う	幅広い視野で予測的に判断し実践を行い、ロールモデルとなる	より複雑な状況において創造的な実践を行い、組織や分野を超えて参画する
各レベルで果たす役割		プリセプティ・チームメンバー	チームメンバー 日々リーダー・プリセプター	日々リーダー・サブリーダー	チームリーダー・主任	師長・看護部長
専門的・倫理的・法的な実践能力	目標 能力の構成要素	倫理的・法的規範に基づき実践する		個別の状況において、倫理的・法的判断に基づく実践を行い、規範からの逸脱に気づき表明する	倫理的・法的判断に基づき認識した課題や潜在的风险の解決に向け行動しロールモデルを示す	より複雑な状況において倫理的・法的判断に基づき行動し、倫理的かつ法律を遵守した実践のための体制整備に組織や分野を超えて参画する
	アカウンタビリティ (責務に基づく実践)	自身の役割や能力の範囲を認識し、自立して行動・説明し実践への責任を持つ □自身の役割や能力の範囲を認識し、責任を持って行動する □病院・看護部の理念、方針を理解する □機構職員の服務規程に沿った行動がとれる □対象者に分かりやすい説明を行い同意を得る		状況に応じ自ら判断して行動・説明し実践への責任を持つとともに、責任を果たす行動における自身の課題に気づき他者に共有する □自身の役割や能力の範囲を認識し、責任を持って行動する □病院・看護部の理念、方針を理解する □機構職員の服務規程に沿った行動がとれる □対象者の思いを受け止めながら、相手に合わせた理解しやすい方法で必要な情報を提供し、同意を得ることができる	責任を果たすことについて同僚や組織における課題やリスクに気づき、解決に向けて行動する □部署における説明責任に関する問題に気づき解決に向けて行動する □病院・看護部の理念、方針を説明できる □機構職員の服務規程に沿った行動がとれるように指導できる □対象者に誠実に対応し、必要な情報の開示と説明を行い、対象者の理解を確認しながら対応できる。	より複雑で関係者が多様な場面においても責任を果たし、組織や分野を超えて参画する □病院・看護部の理念の実現に向けて行動できる □機構職員の服務規程に沿った行動がとれるように指導できる □より複雑で関係者が多様な場面においても説明責任を果たす
	倫理の実践	倫理指針等と目の前の実践を紐づけて理解し、倫理的指針に基づき行動する □対象者に基本的人権を尊重し、良識ある言葉使いや態度をとる	□倫理指針等に基づき、人権を尊重した看護を提供するよう努力する	□倫理指針等に基づき、人権を尊重した看護を提供するよう努力する □部署での倫理の問題に気づき、共有・検討することができる	□顕在的・潜在的な倫理の問題について問題提起し、同僚に働きかけモデルを示す	より複雑かつ多重な顕在的・潜在的な倫理の問題について、解消のために組織や分野を超えて参画する □より複雑かつ多重な顕在的・潜在的な倫理の問題について、解消のために組織や分野を超えて参画する
	法的実践	法令に基づき取るべき行動・取ってはいけない行動を知り、法令を遵守し行動する □精神保健福祉法・保健師助産師看護師法を理解し、法令に基づき行動する □個人情報適切に取り扱うことができる ＊精神科看護技術到達目標を参照	□精神保健福祉法・保健師助産師看護師法を理解し、法令に基づき行動する □個人情報適切に取り扱うことができる	□精神保健福祉法・保健師助産師看護師法を理解し、法令に基づき行動する □個人情報の適切な取り扱いについてメンバーを指導することができる	□精神保健福祉法・保健師助産師看護師法を理解し、法令に基づいて行動し、モデルとなる □個人情報の適切な取り扱いについてメンバーを指導することができる	より複雑な状況においても法令を遵守し、法令に違反するリスクがある行動や状況に対し組織を超えて参画する □より複雑な状況においても法令を遵守し、法令に違反するリスクがある行動や状況に対し組織を超えて参画する
	臨床実践能力	目標 能力の構成要素	基本的な看護手順に従い、必要に応じ助言を得て看護を実践する	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する
臨床実践能力	関係性を構築する力	対象者の思いを察知し工夫しながら関係性を作ることができる □自己の言動を振り返り、対人関係における自己の課題を見つけることができる		対象者と相互にゴールを共有し、協働を意識した関係を築くことができる □どのような状況下にある対象者とも関係性構築のためのコミュニケーションができる □自身の実践を振り返り、対人関係における自己の課題解決に向けて取り組むことができる	複雑な状況下にある対象者と相互にゴールを共有し、協働を意識した関係を築くことができる □自身の実践を振り返り、対人関係における自己の課題解決に向けて取り組むことができる □対象者との関係構築における役割モデルとなる	複雑な状況下にある対象者の自律に向けて関係性を深めることができる □対象者との関係構築における役割モデルとなり、指導できる
	ニーズをとらえる力	助言を得てケアの受け手や状況（場）のニーズをとらえる □身体面のアセスメントができる □心理面・精神面のアセスメントができる □社会面のアセスメントができる □看護上の課題を明らかにできる	ケアの受け手や状況（場）のニーズを自らとらえる □患者・家族との関係性構築のためのコミュニケーションができる □身体面のアセスメントができる □心理面・精神面のアセスメントができる □社会面のアセスメントができる □看護上の課題を明らかにできる	ケアの受け手や状況（場）の特性をふまえたニーズをとらえる □身体面・心理面・精神面・社会面の情報を統合し看護上の課題を明らかにできる	ケアの受け手や状況（場）を統合しニーズをとらえる □看護上の課題が適切かどうか判断し、後輩に指導できる	ケアの受け手や状況（場）の関連や意味をふまえニーズをとらえる □対象者の表面化していないニーズを意図的にとらえることができる
	ケアする力	助言を得ながら、安全な看護を実践する □主な精神疾患とその治療法を知ることができる □看護基準・看護手順に沿って日常的なケアができる □看護計画の立案、実施、評価ができる（その人らしい自立した生活が送れるように） □行動制限を受ける患者のケアができる □薬物療法に関わるケアができる □治療プログラムの意味や目的が理解できる □緊急時の対応がわかる ＊基本的看護技術経験表を参照	ケアの受け手や状況（場）に応じた看護を実践する □看護基準・看護手順に沿ってケアができる □看護計画の立案、実施、評価ができる（その人らしい自立した生活が送れるように） □行動制限最小化に向けた看護ができる □薬物療法、m-ECTに関わるケアができる □治療プログラムにおいて看護の役割を果たすことができる □緊急時の対応ができる	ケアの受け手や状況（場）の特性をふまえた看護を実践する □複雑な状況下にある対象者の看護計画の立案、実施、評価ができる（その人らしい自立した生活が送れるように） □より困難な状況下にある対象者の行動制限最小化に向けた看護ができる □治療プログラムにおいて個別な状況に応じた看護が実践できる □緊急時にメンバーに指示ができる	様々な技術を選択・応用し看護を実践する □看護計画の立案、実施、評価について後輩へ指導ができる（その人らしい自立した生活が送れるように） □行動制限最小化に向けた看護ができ、後輩への指導ができる □治療プログラムにおける看護の役割について指導できる □看護の質を向上するために研究結果や新しい知見を活用する □緊急時にメンバーに指示し、家族や関係者との連絡調整ができる	最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する □対象者の背景にある複数の問題を多角的に捉え、課題の改善や解決に向けた最適な看護を提供できる（その人らしい自立した生活が送れるように）
	意思決定を支える力	ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る □対象者の思いを知るように努力できる □対象者の思いを尊重できる	ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる □対象者の意向を確認し看護に活かすことができる	ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる □対象者の意思決定に必要な情報の提供や意思表出をサポートできる	ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に伴う揺らぎを共有でき、選択を尊重できる □対象者の意思決定に必要な情報の提供や意思表出をサポートし、患者の選択を尊重する	複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる □対象者の意思決定に必要な情報の提供や意思表出をサポートし、患者の選択を尊重するように調整的役割を担う
	協働する力	関係者と情報共有ができる □他職種の役割を理解することができる □他職種と情報交換ができる	看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる □対象者および多職種（関係者を含む）で情報交換・意見交換ができる	ケアの受け手やその関係者、多職種と連携できる □ケアの受け手やその関係者、多職種と連携できる	ケアの受け手を取り巻く多職種の力を調整し連携できる □対象者および多職種、院内外の関係者と連携できる	ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引き出し連携に活かす □ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、多職種の役割が発揮できるように調整する
臨床実践能力	目標 能力の構成要素	基本的な業務手順に従い、必要に応じ助言を得て実践する	業務手順や組織における標準的な計画に基づき自立して実践する	個別のかつ一時的な状況における判断と実践を行う	組織における安全かつ効率的・安定的な実践のための体制整備に主体的に参画し、同僚を支援する	安全で効率的・安定的な実践を常に提供できるよう、組織や職種を超えた調整や教育に主体的に参画する

リーダーシップとマネジメント能力	業務の委譲／移譲と管理監督	看護チーム内の他職種の法的権限や役割を知り、助言を得て、業務を委譲し、委譲した業務の実施確認をする	看護チーム内の他職種の法的な権限や役割を理解し、自立して業務を委譲し、委譲した業務の実施確認をする	イレギュラーな状況においても看護チーム内で適切な業務の委譲および実施確認をするとともに、他職種の法的権限や役割を理解し、必要時業務を移譲する	組織において、看護チーム内および他職種への業務の委譲・移譲や業務遂行のプロセスが安全かつ効率的に行われるよう、マニュアル等の見直しに参画する	業務の委譲・移譲や業務遂行のプロセスが安全かつ効率的に行われるよう、組織や職種を超えた調整による体制整備に主体的に参画する
		<input type="checkbox"/> 看護師、准看護師、看護補助者の役割や責任範囲が理解できる <input type="checkbox"/> 依頼した業務の実施確認ができる		<input type="checkbox"/> 看護師、准看護師、看護補助者へ必要時業務の委譲ができる <input type="checkbox"/> 依頼した業務の実施確認ができる	<input type="checkbox"/> 看護師、准看護師、看護補助者へ必要時業務の委譲ができる <input type="checkbox"/> 依頼した業務の実施確認ができる <input type="checkbox"/> マニュアル等について意見を述べ改善に協力する	<input type="checkbox"/> 部署内だけでなく、部署を超えて業務の委譲・移譲が安全かつ効率的に行われるように調整できる
	安全な環境の整備	助言を得て、安全な環境整備に関わるルールに基づき行動する	安全な環境整備に関わるルールに基づき自立して行動する	事故や問題の発生時、人々や同僚の安全を確保し影響を最小限にする行動をとる	事故や問題の発生時にも主体的に行動し同僚を支援するとともに、潜在的なリスクに対する平常時からの危機管理体制整備に参画する	事故や問題の発生時・平常時の危機管理体制の整備や見直しに、組織や職種を超えて主体的に参画する
		<input type="checkbox"/> 医療場面におけるリスクと基本的な対応がわかる <input type="checkbox"/> 標準予防策を理解し実施できる <input type="checkbox"/> 当院のBCPを理解できる ＊基本的看護技術経験表（安全・感染）を参照	<input type="checkbox"/> 医療安全ガイドラインを理解し基本的な対応ができる <input type="checkbox"/> 院内感染対策マニュアルを理解し実施できる <input type="checkbox"/> 当院のBCPを理解できる	<input type="checkbox"/> 医療安全の視点でリスク評価をタイムリーに行い事故防止策が検討できる <input type="checkbox"/> 感染管理の視点で感染防止策の指導ができる <input type="checkbox"/> 事故や問題発生時、メンバーに指示できる <input type="checkbox"/> 当院のBCPにおけるリーダー役割が理解できる	<input type="checkbox"/> 医療安全の視点でリスク評価をタイムリーに行うように指導できる <input type="checkbox"/> 事故防止策の検討にリーダーシップがとれる <input type="checkbox"/> 感染管理の視点で感染防止策の提案や指導ができる <input type="checkbox"/> 事故や問題発生時、メンバーに指示し、関係者へ報告ができる <input type="checkbox"/> 当院のBCPにおけるリーダー役割が実施できる	<input type="checkbox"/> 組織全体の安全管理について考え、より安全な仕組み作りに貢献できる <input type="checkbox"/> 非常事態においては部署または組織を超えてリーダーシップが取れる
組織の一員としての役割発揮	自身の業務を時間内・時間通りを行うとともに、組織（チーム等）の一員としての役割を理解する	組織や業務実施の標準的な計画に基づき、業務の優先順位の判断や効率的な時間管理を自立して行うとともに、組織（チーム等）の活動に参加し同僚と協力する	業務の実施の中で一時的にリーダーとしての役割を担い組織（チーム等）の目標達成のための業務の管理や改善を行う	組織の目標達成のための業務改善や同僚の支援を行う組織のリーダーとしての役割を担い、改善すべき点は同僚にフィードバックする	業務改善や人材育成のためにリーダーとしての役割を担い目標達成に参画するとともに、組織を超えた変革や人材育成に役割を発揮する	
	<input type="checkbox"/> 看護部・部署の目標を理解し、自身の目標管理ができる <input type="checkbox"/> 決められた業務を時間内に実施できるように調整する <input type="checkbox"/> 業務上の報告・連絡・相談を適切に行う <input type="checkbox"/> 固定-チームナースングのメンバー役割を果たすことができる	<input type="checkbox"/> 看護部・部署の目標を理解し、自身の目標管理ができる <input type="checkbox"/> 決められた業務を時間内に実施できるように調整する <input type="checkbox"/> 業務上の報告・連絡・相談を適切に行う <input type="checkbox"/> サポートを受けて日々リーダーの役割を果たすことができる 後輩看護師の指導ができる	<input type="checkbox"/> 部署や委員会、自己の目標達成に向けて計画的に行動することができる <input type="checkbox"/> 業務上の報告・連絡・相談を適切に行う <input type="checkbox"/> 看護の質と効率を考えるとリーダー役割を果たすことができる <input type="checkbox"/> 後輩の指導ができる（実習指導を含む）	<input type="checkbox"/> 部署や委員会、自己の目標達成に向けて計画的に行動することができる <input type="checkbox"/> 看護の質と効率を考えると部署やチームのリーダー役割を果たすことができる <input type="checkbox"/> 部署教育の中心的役割を担う（転入者・看護補助者教育を含む） <input type="checkbox"/> 業務上の報告・連絡・相談を適切に行うよう指導する	<input type="checkbox"/> 部署を超えて人材育成に取り組む <input type="checkbox"/> 看護の質及び部署の状況を判断し、柔軟に業務改善を推進することができる	
専門性の開発能力	能力の構成要素	専門職としての自身の質の向上を図る		自身の質の向上を継続するとともに、組織の看護の質向上や組織の新人・学生の指導に関わる	幅広い視野と予測に基づき自身と組織の質を更に向上するとともに看護の専門職組織の活動に関わる	看護の質及び部署の状況を判断し、柔軟に業務改善を推進することができる
	看護の専門性の強化と社会貢献	看護の専門職としての自覚と社会から求められている役割の認識に基づき行動する		保健・医療・福祉に関わる専門職としての自覚をもって行動し、組織の新人・学生のロールモデルとなる	保健・医療・福祉の制度や政策に広く視野をもって専門職組織（職能団体や学会等）の活動を通じた提言活動や看護学の発展に関わる	専門組織（職能団体や学会等）に参画し、未来を見据えた制度・政策の改善・決定や、組織や看護・医療を超えた能力開発に関わる
		<input type="checkbox"/> 社会が精神科看護師に求めている役割に関心を向けることができる		<input type="checkbox"/> 医療全体の動向や精神科医療に関する最新の知見や情報を意図的に得ることができる	<input type="checkbox"/> 医療全体の動向や精神科医療に関する最新の知見や情報を意図的に得ることができる <input type="checkbox"/> 専門職組織（職能団体や学会等）の活動に関心を持つ	<input type="checkbox"/> 職能団体や学会等からの情報を得て看護師の能力開発に活かす
	看護実践の質の改善	科学的根拠に基づき行動し、自身の看護実践を定期的に見直し質向上を図る		エビデンスに基づき自身や組織の看護実践の質の評価と改善を行うとともに、組織の新人・学生の指導を行う	新たな知見や技術を取り入れ実践し、成果を可視化することでエビデンスの構築に貢献するとともに、同僚の学習や能力開発を支援する	看護・医療を超え新たな知見や技術を活用し組織を超え未来を見据えた変革・創造を主導・発信するとともに、看護実践の質向上を支援する
		<input type="checkbox"/> 対象者との関わりや他者からの助言を得て自己の実践を振り返り、精神科看護について考えることができる <input type="checkbox"/> 看護実践に必要な文献検索ができる	<input type="checkbox"/> 研究的視点をもって、自身の看護実践の質の向上に取り組む	<input type="checkbox"/> 看護実践の多面的な分析・評価（研究的な視点）を行い、実践の振り返りを行う <input type="checkbox"/> 看護実践者として新人・学生の指導を行う <input type="checkbox"/> 問題解決や看護の質を向上するために研究的に取り組む	<input type="checkbox"/> 専門領域や高度な看護技術等の習得に主体的に取り組む <input type="checkbox"/> 後輩のロールモデルとなり学習を支援する <input type="checkbox"/> 問題解決や看護の質を向上するために研究的に取り組む <input type="checkbox"/> 研究活動に協力する	<input type="checkbox"/> 専門領域や高度な看護技術等を習得できる環境をつくる <input type="checkbox"/> 研究活動を支援する <input type="checkbox"/> 部署における教育的役割がとれる <input type="checkbox"/> 病院全体における看護の質評価を行い、改善に向けて取り組むことができる
	生涯学習	自身の実践や能力の内省・評価や課題の整理を行い、適宜同僚等からのフィードバックも得ながら、学習を自ら計画的に行う		自身に必要な知識や経験等を判断し多職種との共に学び合うとともに、自身の今後のキャリアを描く	自身のキャリアの中長期的展望を描き、その展望に応じた多様な学びを継続し同僚のモデルとなる	自身のキャリアに応じた学び直しや学習棄却を必要に応じて行うとともに、組織や看護・医療を超えて人材の生涯学習を支援する
		<input type="checkbox"/> 自己評価・他者評価を踏まえた自己の学習課題を見つける <input type="checkbox"/> 課題の解決に向けて必要な情報を収集し行動できる <input type="checkbox"/> 学習の成果を自らの看護実践に活用する		<input type="checkbox"/> 自身の学習課題の解決のために自己研鑽できる <input type="checkbox"/> 看護師としての中長期的なキャリアデザインを描く <input type="checkbox"/> 自身の学習の成果を自らの看護実践に活用する	<input type="checkbox"/> 組織のニーズを意識しながら、自己のキャリアデザインが描ける	<input type="checkbox"/> 自身のキャリアに応じた学び直しや学習棄却を行う <input type="checkbox"/> スタッフのキャリアデザイン形成の支援ができる
自身のウェルビーイングの向上（身体、精神、社会的に健康な状態）	自身のウェルビーイングの維持を図る		心身の状況を判断してセルフケアを行い、自身のウェルビーイングを維持向上する	自身や周囲の状況の変化を予測しながら自身のウェルビーイングの維持向上を継続し、同僚のモデルとなる	自身のウェルビーイングの維持向上を継続するとともに、組織や看護・医療を超えて人材のウェルビーイングに創造的に関わる	
	<input type="checkbox"/> 自身の健康管理を行うことができる <input type="checkbox"/> 仕事と生活の調和をとりメンタルヘルスケアに努める					<input type="checkbox"/> 自身の健康管理を行うことができる <input type="checkbox"/> スタッフの健康管理ができる
自主ラダー研修	精神科看護学 精神疾患論 リーダーシップ論Ⅰ 精神科リハビリテーション論Ⅰ	精神保健福祉論 精神薬理学 人間関係論 看護理論 精神機能論Ⅰ 看護研究Ⅱ リーダーシップ論Ⅱ 精神科リハビリテーション論Ⅰ	精神機能論Ⅱ 家族システム論 教育Ⅰ リーダーシップ論Ⅲ	教育Ⅱ リーダーシップ論Ⅳ		